

こんなときに

- 器具の照射方向を変更したい

器具の傾き

取付方向の定義

照明器具のA断面・B断面について

A断面とは配光を測定する際の測定開始位置です。原則的には図1のような方向がA断面になります。特殊な照明器具については、配光曲線(図2)を見て確認する必要があります。

原則的には管軸に垂直な断面がA断面になります。

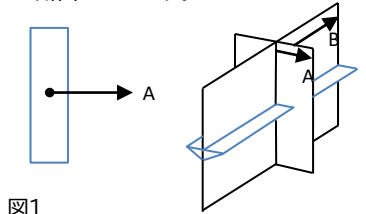


図1

ルミナスプランナーの配光曲線の見方

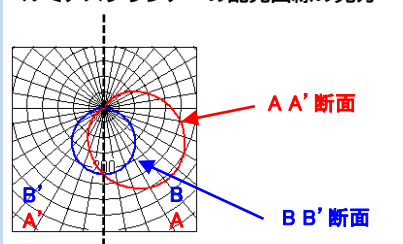
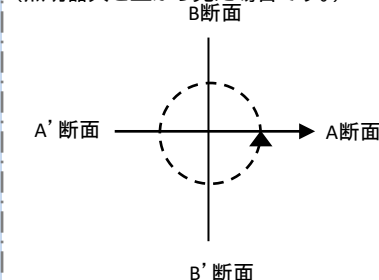


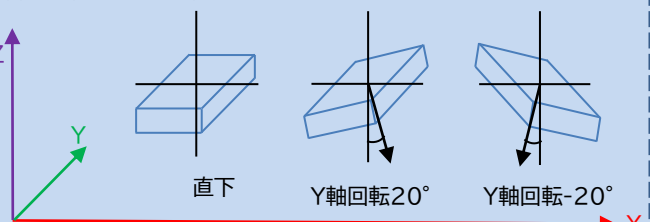
図2 配光曲線:XLX450CBLC

A断面を基準に、90°がB断面、180°がA'断面、-90°がB'断面になります。(照明器具を上から見た場合です。)



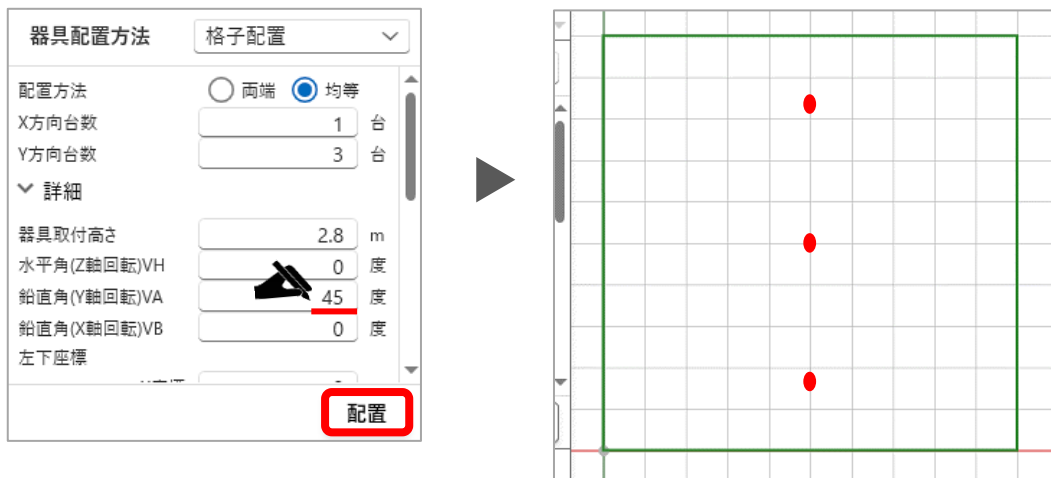
鉛直角(Y軸回転)

鉛直角(Y軸回転)は照明器具A断面の鉛直方向の取付角を表し、Y軸回転を指定することで照明器具を水平以外に取り付けて計算を行うことが可能です。



STEP1a 照射角度の変更(器具を新規に配置する場合)

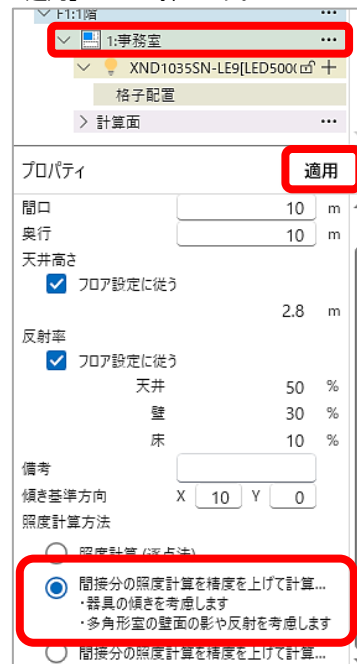
照明器具検索後※器具配置方法にある鉛直角(Y軸回転)を入力し、「配置」ボタンを押します。



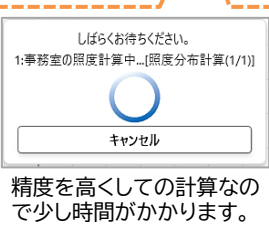
※器具検索方法については、「器具の回転」のSTEP1をご参照ください。

STEP2 計算方法の変更

ツリーの「部屋」を選択し、プロパティの「照明計算方法」をラジオシティ法に変更し「適用」ボタンを押します。

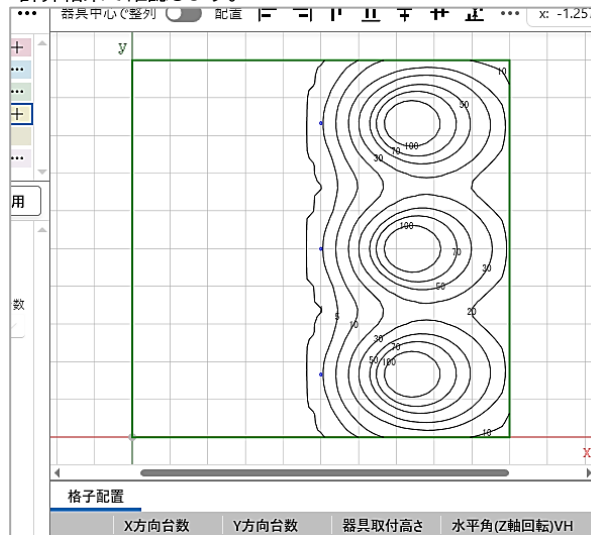


「計算」ボタンを押します。



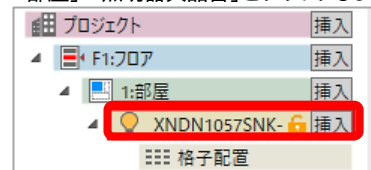
精度を高くしての計算なので少し時間がかかります。

計算結果で確認します。

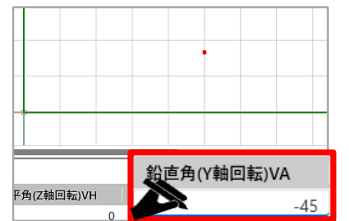


STEP1b 座標から器具の角度を変更(器具を配置した後に変更する場合)

「部屋」-「照明器具品番」をクリックします。



変更したい角度を「鉛直角(Y軸回転)」に, Enterキーを押します。

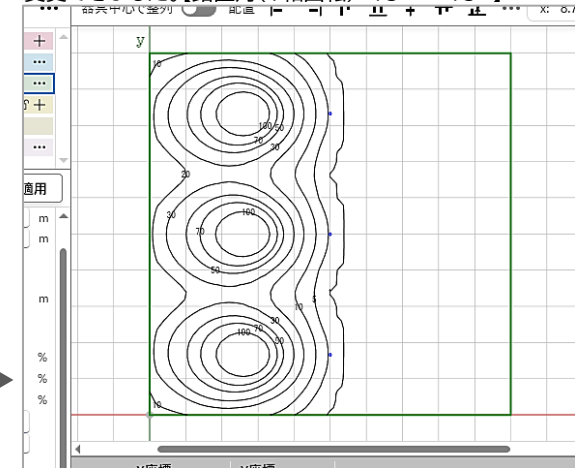


STEP2 の計算方法の変更後



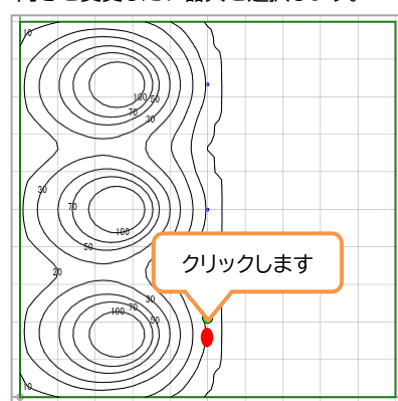
「計算」ボタンを押します。

変更できました。【鉛直角(Y軸回転):45°→ -45°】

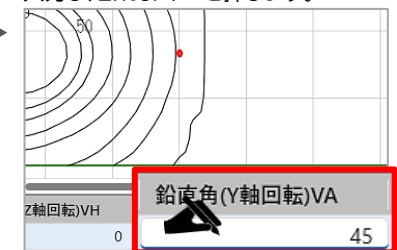


STEP2c 特定の器具のみ向きを変更したい場合(器具を配置した後に変更する場合)

向きを変更したい器具を選択します。



変更したい角度を「水平角(Z軸回転)」に, Enterキーを押します。



「計算」ボタンを押します。

変更ができました。

